



平成24年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年12月21日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
 コード番号 4343 URL http://www.fantasy.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷 美津子
 問合せ先責任者 (役職名) 経営本部本部長 (氏名) 新田 悟 (TEL) 043 (212) 6203
 四半期報告書提出予定日 平成23年12月28日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第3四半期の業績 (平成23年2月21日～平成23年11月20日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第3四半期	31,445	1.5	2,618	83.4	2,621	96.3	1,224	114.7
23年2月期第3四半期	30,972	△4.9	1,427	△4.7	1,335	△3.7	570	△3.7

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年2月期第3四半期	67	56	67	41
23年2月期第3四半期	31	47	31	43

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第3四半期	24,012	18,308	76.1	1,008 05
23年2月期	21,421	17,613	82.1	970 50

(参考) 自己資本 24年2月期第3四半期 18,275百万円 23年2月期 17,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	— —	0 00	— —	30 00	30 00
24年2月期	— —	0 00	— —		
24年2月期 (予想)				30 00	30 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の業績予想 (平成23年2月21日～平成24年2月20日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	42,800	1.3	3,600	34.2	3,600	38.4	1,600	27.3	88 25	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更： 有

② ①以外の変更： 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年2月期3Q	18,175,688株	23年2月期	18,175,688株
② 期末自己株式数	24年2月期3Q	46,112株	23年2月期	47,051株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年2月期3Q	18,129,323株	23年2月期3Q	18,126,095株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 [添付資料] P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(第3四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間は3月の大震災から始まるなど、極めて激動の事業年度となりましたが、当社は震災で被災した店舗の迅速な営業再開や当初からの重点政策を着実に推進してきました。具体的には、個別店舗ごとのお客さまの年齢層に対応した遊戯機械の品揃え改革や不振店舗対策の強化など、きめ細やかなマーチャンダイジングの推進とキッズ&トドラー対象部門の強化を進めました。それらに取り組むことでお客さまが身近に楽しんでいただける安全・安心な施設をめざしてまいりました。

その結果、震災後とりわけ5月度から著しい業績回復を果たし、11月度までの累計期間で、震災による約8億円の売上棄損を挽回することができました。中でも、今年度で累計60店舗に導入した幼児向け遊具コーナー「ファンタジースキッズガーデン」の11月度までの累計既存店売上伸び率は29.3%増となりました。また、国内最大シェアであるカードグループの当第3四半期会計期間の既存店売上伸び率が33.9%増になるなど、当社の強みであるキッズ&トドラー対象の部門が売上を牽引する結果となりました。

当第3四半期会計期間3ヶ月の業績については、売上高105億87百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益10億34百万円（同160.4%増）、経常利益10億41百万円（同163.8%増）、四半期純利益5億30百万円（同278.4%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高314億45百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益26億18百万円（同83.4%増）、経常利益26億21百万円（同96.3%増）、四半期純利益12億24百万円（同114.7%増）と、それぞれ大幅な増益となりました。

なお、海外事業は非連結であります。イオンファンタジー北京において11月に4号店の「幻想樂園 新洲店」が開店するとともに、12月末に広東省中山市に地元商業ディベロッパーが開発するショッピングセンターに5号店を開店いたします。

また、イオンファンタジーマレーシアにおいては、11月20日現在、17店のF C店舗はすべて直営店舗となり、当期の新店も含め、合計18店となりましたが、12月及び年明け早々に地元ショッピングセンターへの出店も含め2店舗開店いたします。

上記のように、両子会社とも計画通りの事業拡大で推移しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、前期末と比べて17億62百万円増加し122億57百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（29億80百万円）と、売上預け金の増加（12億58百万円）、関係会社寄託金の増加（30億円）であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、前期末と比べて8億28百万円増加し117億54百万円となりました。主な要因は、新規出店や活性化等の設備投資に伴う有形固定資産の取得（28億75百万円）や減価償却費の計上による減少（27億33百万円）、イオンファンタジーマレーシアへの出資（9億26百万円）による増加であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、前期末と比べて17億40百万円増加し55億4百万円となりました。主な要因は、新規出店や活性化投資等の設備投資により設備関係支払手形が5億4百万円増加したことあります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、前期末と比べて1億55百万円増加し1億99百万円となりました。主な要因は、資産除去債務を1億85百万円計上したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前期末と比べて6億95百万円増加し183億8百万円となりました。主な要因は、配当金5億43百万円の支払いによる減少、また、四半期純利益12億24百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、50億74百万円（前年同期比4億77百万円増）となりました。主な理由は、以下のとおり

りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、38億53百万円（前年同期比2億79百万円減）となりました。その主な内訳は、税引前四半期純利益23億95百万円及び減価償却費27億33百万円の計上や、売上預け金の増加額12億58百万円、法人税等の支払額12億69百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、62億91百万円（前年同期比19億45百万円増）となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出21億45百万円、関係会社株式（イオンファンタジーマレーシア）の取得と増資による支出9億26百万円、関係会社寄託金の純増額30億円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億43百万円となりました。その主な内訳は、配当金の支払5億43百万円であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2011年12月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ12,572千円減少し、税引前四半期純利益は198,212千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は203,473千円であります。

なお、従来、店舗の閉鎖に伴い発生する原状回復費用については閉店損失引当金として計上しておりましたが、同会計基準の適用に伴い、第1四半期会計期間から資産除去債務として計上しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年11月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,074,760	8,055,740
売掛金	2,906	3,234
売上預け金	2,330,824	1,072,023
商品	455,507	277,876
貯蔵品	336,299	383,767
関係会社寄託金	3,000,000	—
その他	1,057,281	702,705
流動資産合計	12,257,579	10,495,348
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	846,344	886,506
遊戯機械(純額)	4,961,428	4,930,785
その他(純額)	496,279	502,808
有形固定資産合計	6,304,052	6,320,100
無形固定資産		
のれん	972,699	1,144,352
その他	14,683	24,196
無形固定資産合計	987,383	1,168,549
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	2,020,615	2,113,623
その他	2,442,923	1,323,839
投資その他の資産合計	4,463,539	3,437,462
固定資産合計	11,754,975	10,926,111
資産合計	24,012,555	21,421,460

(株)イオンファンタジー(4343)平成24年2月期第3四半期決算短信

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年11月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,023,755	831,387
未払費用	1,515,868	1,081,561
未払法人税等	905,913	690,383
賞与引当金	325,799	151,541
役員業績報酬引当金	49,665	57,226
設備関係支払手形	994,458	490,075
閉店損失引当金	11,810	—
資産除去債務	10,025	—
その他	667,699	462,154
流動負債合計	5,504,996	3,764,330
固定負債		
資産除去債務	185,541	—
その他	13,680	43,960
固定負債合計	199,221	43,960
負債合計	5,704,217	3,808,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,747,139	1,747,139
資本剰余金	1,717,378	1,718,312
利益剰余金	14,884,777	14,203,882
自己株式	△73,852	△75,439
株主資本合計	18,275,443	17,593,894
新株予約権	32,894	19,275
純資産合計	18,308,338	17,613,169
負債純資産合計	24,012,555	21,421,460

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年11月20日)
売上高	30,972,007	31,445,611
売上原価	27,727,045	27,022,982
売上総利益	3,244,962	4,422,629
販売費及び一般管理費	1,817,350	1,803,852
営業利益	1,427,611	2,618,776
営業外収益		
受取利息	1,776	8,852
受取保険金	9,170	9,040
機械仕入割戻	12,442	6,099
その他	18,692	11,300
営業外収益合計	42,081	35,293
営業外費用		
減価償却費	34,487	—
リース解約損	—	6,180
固定資産売却損	84,717	23,776
その他	14,736	2,694
営業外費用合計	133,941	32,651
経常利益	1,335,752	2,621,419
特別利益		
役員業績報酬引当金戻入額	451	13,658
受取保険金	—	100,000
受取和解金	58,420	—
特別利益合計	58,871	113,658
特別損失		
店舗閉鎖損失	67,101	13,272
閉店損失引当金繰入額	21,916	11,810
減損損失	—	30,388
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	185,639
災害による損失	—	98,838
特別損失合計	89,017	339,948
税引前四半期純利益	1,305,606	2,395,128
法人税、住民税及び事業税	1,111,708	1,503,315
法人税等調整額	△376,528	△332,940
法人税等合計	735,180	1,170,374
四半期純利益	570,425	1,224,754

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成22年8月21日 至 平成22年11月20日)	当第3四半期会計期間 (自 平成23年8月21日 至 平成23年11月20日)
売上高	9,807,853	10,587,168
売上原価	8,817,967	8,942,907
売上総利益	989,886	1,644,260
販売費及び一般管理費	592,477	609,461
営業利益	397,408	1,034,799
営業外収益		
受取利息	838	4,830
受取保険金	3,015	3,550
機械仕入割戻	2,082	1,831
その他	1,152	3,737
営業外収益合計	7,088	13,949
営業外費用		
固定資産売却損	5,288	6,289
その他	4,478	1,094
営業外費用合計	9,767	7,383
経常利益	394,730	1,041,364
特別損失		
店舗閉鎖損失	10,779	457
閉店損失引当金繰入額	21,916	11,810
減損損失	—	11,566
災害による損失	—	368
特別損失合計	32,695	24,202
税引前四半期純利益	362,035	1,017,161
法人税、住民税及び事業税	418,174	639,187
法人税等調整額	△196,376	△152,670
法人税等合計	221,798	486,516
四半期純利益	140,236	530,645

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,305,606	2,395,128
減価償却費	3,579,864	2,733,771
固定資産除売却損益(△は益)	223,850	208,702
賞与引当金の増減額(△は減少)	142,727	174,258
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	710	△7,560
受取利息	△1,776	△8,852
受取保険金	—	△100,000
減損損失	—	30,388
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	185,639
受取和解金	△58,420	—
災害損失	—	98,838
売上債権の増減額(△は増加)	573	328
売上預け金の増減額(△は増加)	△947,848	△1,258,800
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53,463	△130,162
仕入債務の増減額(△は減少)	46,636	192,367
その他	651,481	503,276
小計	4,889,941	5,017,324
利息の受取額	1,313	5,900
和解金等の受取額	125,727	—
保険金の受取額	—	100,000
法人税等の支払額	△884,062	△1,269,601
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,132,920	3,853,623
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,798,032	△2,145,141
有形固定資産の売却による収入	72,963	98,684
無形固定資産の取得による支出	△450	△250
関係会社株式の取得による支出	—	△926,862
関係会社出資金の払込による支出	—	△350,000
長期前払費用の増加による支出	△23,219	△18,442
敷金及び保証金の差入による支出	△28,308	△17,858
敷金及び保証金の回収による収入	80,895	76,863
関係会社貸付けによる支出	△150,000	—
関係会社寄託金の純増減額(△は増加)	△1,500,000	△3,000,000
その他	—	△8,268
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,346,150	△6,291,275
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△192	△176
配当金の支払額	△543,194	△543,152
その他	—	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△543,387	△543,327
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△756,618	△2,980,979
現金及び現金同等物の期首残高	5,353,552	8,055,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,596,934	5,074,760

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。